年次処理マニュアル(出先)

◆このマニュアルは出先用です カスタマイズの有無により若干異なる点がございますが、ご了承ください



下記手順に従って行ってください この作業は新年度を迎えるにあたって必ず必要となります

◆新年度準備◆

新年度の伝票作成作業を行うためには本部で新年度のマスタ作成等の年次処理が必要になります 本部に確認を取ってから行ってください

1 制御ファイルWS保守の作成(すべてのクライアントで必要)

◆決算時~新年度処理◆

- 2 未収金・未払金への計上
- 3 Q&A

☆ 公益情報システム株式会社

1 制御ファイルWS保守の作成

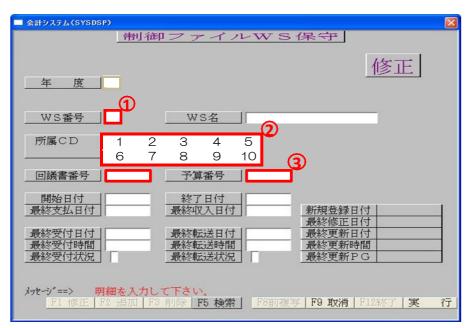


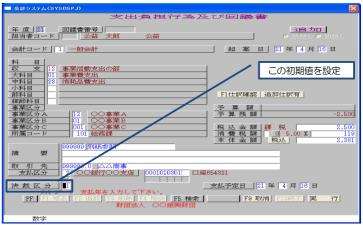
ご利用になるすべてのパソコンで設定が必要です 各クライアントの回議書番号・予算番号を管理するファイルです

WS保守・各項目の説明

お客様により設定が出来ない場合もございます ご了承ください

- ①WS番号 データの送受信に利用されます(出先←本部) [制御ファイルHS保守]で各出先ごとの送受信時間を管理するのに必要です
- ②所属コード 各伝票の決裁欄の初期値を設定します(決済欄マスタに登録済みのもの)
 - 1 収入回議書
 - 2 支出回議書
 - 3 支出負担行為及び支出回議書
 - 4 支出負担行為
 - 5 振替回議書
 - 7 予定入力
 - 9 流用回議書
 - 10 本部と通信でデータの送受信をしている場合、一度送信したデータの処理の可否を設定
- ③回議書番号 前年度の回議書番号の頭1~2桁 + 0000000(ゼロを6~7つ)=計8桁 予算番号 前年度の予算番号の頭2~3桁 + 000000(ゼロを5~6つ)=計8桁 ※こちらを設定することにより端末管理ができます





◆新年度のWS保守が作成されているか確認します

- 1. 制御マスタ保守] [制御ファイルWS保守] を選択します
- 2. F1 修正] モードに変更します



メッセーシ゛==> 入力された年度ではデータが存在しません

◆ 新年度のWS保守が作成されていない場合をご確認ください

登録されている場合は以下をご確認ください。



①~③の内容が<mark>前年度と違う場合は変更登録</mark>してください そのままご利用になりますと、データに不具合が生じま

基本的に前年度と同様に登録しますので、変更する場合は、すべてのクライアントで WS番号 ● 回議書番号 ● 予算番号がダブらないように十分注意してください また年度途中での修正は行えません

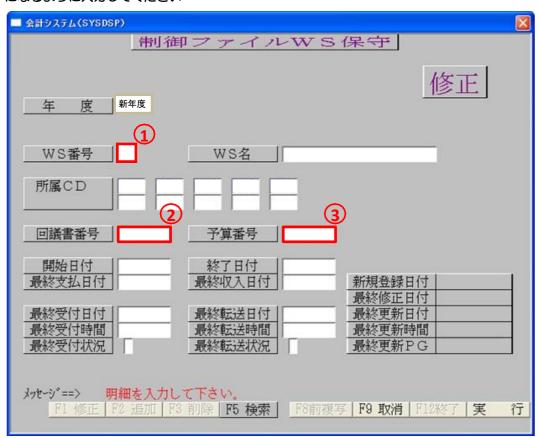
①WS番号 前年度と同じ数字を入力してください

回議書番号

前年度の回議書番号の頭1~2桁 + 0000000 (ゼロを6~7つ) =計8桁になるように入力してください

予算番号

前年度の予算番号の頭2~3桁 + 0000000 (ゼロを5~6つ) =計8桁 になるように入力してください



◆新年度のWS保守が作成されていない場合

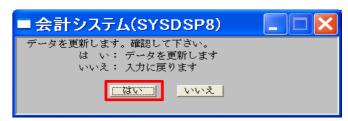


前年度のWS保守をコピーして修正します

- 1. [制御マスタ保守] [制御ファイルWS保守] を選択します
- 2. [F1 修正] モードで前年度を呼び出します



3. 実行ボタンを押すと下記が表示されますので「はい」を選択してください



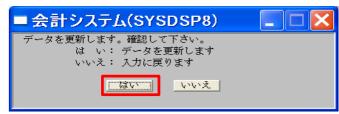
4. そのまま [F2 追加] モードにします



5. 新年度を入力し、 [実行] を押します



6. 下記の画面が出ますので「はい」を選択してください



7。 [F1 修正] モードで新年度を呼び出します

■ 会計システム(SYSDSP)		X
	制御ファイルWS保守	
新年度を 入力します	修正	
年 度		
WS番号	WS名	
所属CD		
回議書番号	予算番号	
開始日付 最終支払日付	終了日付	
最終受付日付 最終受付時間 最終受付状況	最終転送日付	
	を入力して下さい。	行

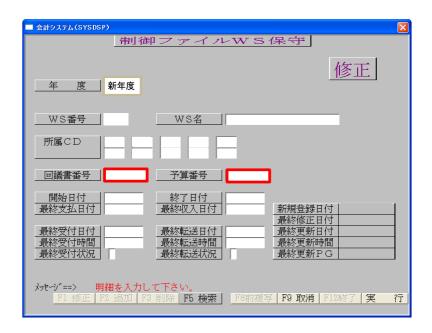
8. 回議書番号・予算番号を修正します

回議書番号 前年度の回議書番号の頭1~2桁 + 0000000(ゼロを6~7つ) =計8桁 になるように入力してください

予算番号

前年度の予算番号の頭2~3桁 + 0000000(ゼロを5~6つ) =計8桁 になるように入力してください

※こちらを設定することにより端末管理ができます



9. Enterキーを2回押して登録します

2-1 未払金計上



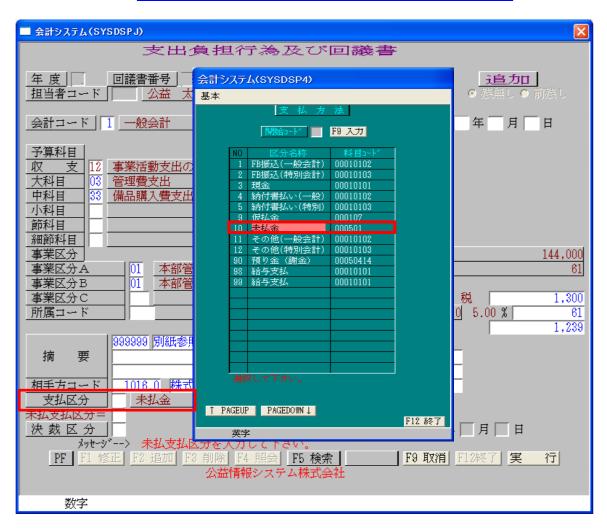
未払金へ計上します(翌年度の支払区分、支払日が決定している場合)

◆翌年度の支払区分・支払予定日が未定のお客様は 6-2未払金計上(支払方法・支払日が未定の場合)をご確認ください

未払金計上は通常の入力と同じように処理することが出来ます

- ① [支出処理] -該当する [支出回議書] を選択します
- ② [追加モード] で詳細を入力します
- ③ [支払区分] で「未払金」を選択(F5検索可能)

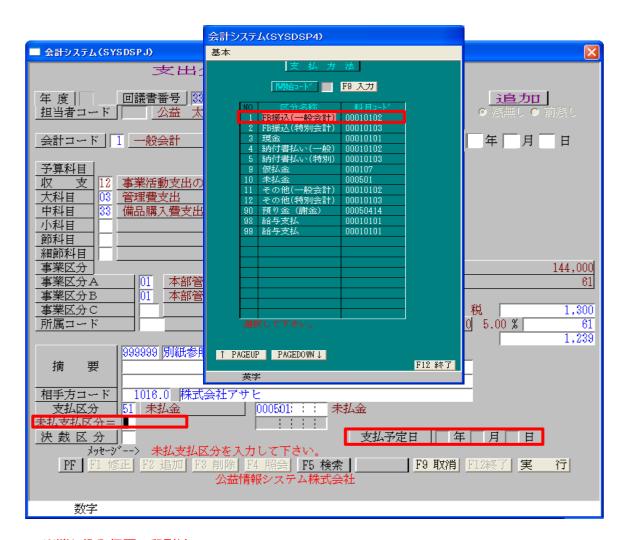
<u>「未払金」という支払区分がない場合は [科目マスタ] で未払金の科目があることを確認し</u> [マスタ保守]- [支払・収入マスタ保守] で作成します



- ④ [支払区分] で「未払金」を選択した場合支払区分の下に [未払支払 区分] を入力する項目が表示されます
- ⑤ [未払支払区分] で「その未払金を来年度に何で支払うか」を選択(F5検索可能) 未定の場合は入力しません→「未払金自動振替無」と表示されます
- ⑥ [支払予定日] (実際に支払う年度の予定日)を入力します 入力によって次年度の未払金の消し込みデータも作成されます (注: 伝票自動作成設定の場合のみ)

[未払支払区分] が未入力の場合、支払予定日は入力しません

- ⑦ 決裁区分を入力します
- 8 Enterキーで登録します



※消し込み伝票の印刷は

[支出回議書(未払金)] で行います

「照会モード」で実際に支払う年度で呼出しEnterキーで登録すると印刷されます

※伝票印刷時に「科目異常発生」のエラーが発生

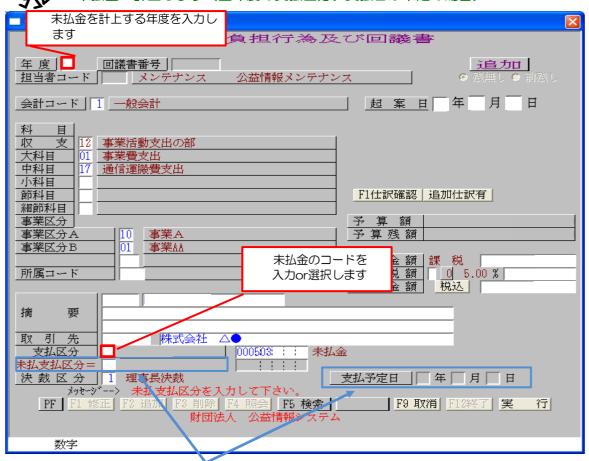
指定した科目が存在しないためにおこる現象です

本部の場合・・新年度の科目マスタ作成を行ってください

出先の場合・・本部でマスタ準備後、マスタ取り込みを行ってください

2-2 未払金計上(支払方法 • 支払日が未定の場合)

* 未払金へ計上します(翌年度の支払区分、支払日が未定の場合)

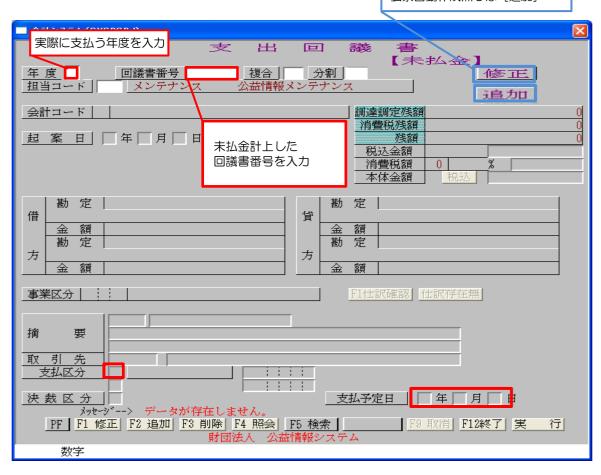


支払予定日が決まってない場合は空欄にしてください この場合は未払支払区分{支払科目(預金・現金)}も空欄にしてください

◆次年度になり支払方法・支払日が決定後

- ① [支出処理] [支出回議書(未払金)] を選択します
- ②「未払金」に計上した年度ではなく 実際に支払う年度 を入力します
- ③ 伝票自動作成は [修正モード]、伝票自動作成無しは [追加モード] で未払金を計 上した回議書番号を入力します
- ④ [支払区分] [支払予定日] を入力します

伝票自動作成は [修正] 伝票自動作成無しは [追加]



※消し込みデータを削除する場合

未払金計上した画面で [未払支払区分] [支払予定日] を空欄に し Enterキーで登録します

Q&A

- Q. 伝票印刷時に「科目異常発生」のエラーが起きました A 指定した科目が存在しないために起こる現象です
 - - 本部に新年度マスタの更新を依頼してください
- Q. 新年度で伝票入力すると「予算オーバーです」のメッセージが出ます A 予算入力されているか本部へ確認してください